

科目名	社会活動とコミュニケーション演習	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	豊かな人間性	時間数	20 時間			
担当者名	山下 貴史、外部講師(市民活動C)	単位数	1 単位			
科目の概要	社会活動に関する講義・演習、ボランティア活動への参加					
身に付ける力	(1)社会生活に必要なマナーやコミュニケーション能力 (2)地域社会の構成者としての自覚や、地域貢献に関する意欲					
到達目標	(1)社会活動の種類や意義について理解する (2)各種ボランティア活動に積極的に参加する (3)社会の課題を発見し、解決に向けての関わり方を思考する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	社会活動とは、ボランティア活動の意義	2	外部講師		
	2	ボランティア(1)	2			
	3	ボランティア(2) ・農大周辺水路清掃	2			
	4	ボランティア(3) ・寮周辺環境整備	2			
	5	ボランティア(4) ・大平山環境保全	2			
	6	ボランティア(5) ・防府市各種イベント	2			
	7	ボランティア(6) ・防府読売マラソン	2			
	8	ボランティア(7) ・献血	2	山下 貴史、外部講師		
	9	ボランティア(8) ・その他	2			
	10	地域社会の課題と自らの関わり方	2	外部講師		
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	30	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態度	70	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	地域課題探求	開講時期	1年生 後期			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	地域活性化力	時間数	20 時間			
担当者名	田中 加奈子、外部講師(指導農業士他)	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)県内各産地の現状や展望に関する学修(講話、現地視察) (2)県内各産地の課題解決に関する学修(ワークショップ)					
身に付ける力	(1)県内各産地の課題発見とその解決に取り組む意欲 (2)県内各産地への就農意欲					
到達目標	(1)県内各産地の現状を理解する (2)県内各産地の課題を発見し、その解決思考できる					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	県内各産地の現状について	12	外部講師		
	2	県内各産地の課題解決策の検討	6	田中 加奈子		
	3	県内各産地の課題解決策の検討(まとめ)	2	田中 加奈子		
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	30	発表・成果物	知・技・思・判・表	20
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価		

科目名	情報処理・情報活用	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	30 時間			
担当者名	河本 一慶、小林 和真、笠井 亨浩、山下 貴史、農業技術研究室、環境技術研究室、林業技術研究室、経営高度化研究室	単位数	2 単位			
科目的概要	(1)ワープロソフト、計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法の学修 (2)IoTを活用した農場管理技術に関する学修 (3)インターネットを活用した情報発信、リモートでの情報交換等に関する学修					
身に付ける力	(1)DX時代に対応するITに関する基礎知識・技術 (2)IoTを活用した農場管理技術 (3)インターネットを活用した情報発信、リモートでの情報交換に関する基礎的知識・技術					
到達目標	(1)ワープロソフト、計算ソフト、プレゼンテーションソフトを活用して、プロジェクトのプレゼンテーションを行うことができる (2)農場管理における環境制御システム、牛群管理システムを使用できる (3)インターネットを活用した情報発信やリモートでの情報交換方法を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	ワープロソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	2	ワープロソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	3	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	4	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	5	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	6	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	7	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	8	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	9	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2	各担当		
	10	農場の環境制御に関する基礎的知識・技術	2	原田 浩介、小山 覚史		
	11	農場の環境制御に関する基礎的知識・技術	2	原田 浩介、小山 覚史		
	12	その他のIoTを活用した農業技術	2	岡崎 芳夫		
	13	その他のIoTを活用した農業技術	2	松本 哲朗		
	14	林業における情報処理の活用について	3	山田 隆信		
	15	定期考查	1	各担当		
テキスト・副教材	Word2019 マスター演習テキスト基礎編、Excel2019 マスター演習テキスト基礎編 PowerPoint2019 テキスト 以上ムゲンダイ出版					
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技・思・判・表	70	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	特別講義	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	地域活性化力、豊かな人間性	時間数	15 時間			
担当者名	吾郷 智之、農業振興課、企画戦略部、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	社会生活に必要な一般教養等に関する学修					
身に付ける力	社会人として必要な一般教養					
到達目標	社会人として必要な一般教養(国際交流 等)を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数			
	1	卒業生の講話	2			
	2	海外研修に関する講話	1			
	3	農業実物鑑定競技	2			
	4	防災(消防訓練)	2			
	5	海外の風習、食文化に関する講義(1)	2			
	6	海外の風習、食文化に関する講義(2)	2			
	7	海外の風習、食文化に関する講義と実習	2			
	8	研究成果発表会	2			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業経営	開講時期	1年生通年
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間
担当者名	吾郷 智之、経営高度化研究室、外部講師	単位数	1 単位
科目的概要	(1)山口県農業に関する基礎的な学修 (2)一般的な会社経営に係る基礎知識の学修 (3)農業経営実践者から、農業経営の内容や管理方法等を聞き取り		
身に付ける力	農業経営に関する基礎的な知識		
到達目標	(1)山口県農業に関する情勢等を理解する。 (2)農業経営や農業法人等に関する基本的な内容を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1 1	農業を巡る情勢について	
	2	(1)山口県農業の概要	2 吾郷 智之
	3 2	農業経営の基礎	
	4	(1)農業に関する基礎知識	1 吾郷 智之
	5	(2)農業経営のしくみ	2 吾郷 智之
	6	(3)農業経営の理念や目標	2 吾郷 智之
	7	(4)農業経営管理	2 吾郷 智之
	8 3	農業法人等の取組みについて	
	9	(1)農業経営の法人化	2 尾崎 篤史
	10	(2)農業法人の経営実践	2 尾崎 篤史
	11	(3)会社経営(農業以外)	1 外部講師
	12	定期考查	1 吾郷 智之
	13		
	14		
	15		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70 実技テスト
	レポート		発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表、態	30 研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業政策概論	開講時期	1年生 後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術、経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	鳥居 俊夫、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)農業政策の意義や内容に関する学修 (2)農業経営の現状に関する学修 (3)農業担い手に関する支援策の概要					
身に付ける力	農業政策の意義や内容の理解と県内農業の現状の理解					
到達目標	(1)農業政策の意義や内容を理解する (2)農業経営の現状を理解する (3)農業担い手に関する支援策を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	農業政策の意義と内容(1)	4	鳥居 俊夫、外部講師		
	2	農業政策の意義と内容(2)	4	鳥居 俊夫、外部講師		
	3	県農業の情勢と各種施策(1)	2	鳥居 俊夫、外部講師		
	4	県農業の情勢と各種施策(2)	2	鳥居 俊夫、外部講師		
	5	県内の農業法人の現状(1)	2	鳥居 俊夫、外部講師		
	6	県内の農業法人の現状(2)	1	鳥居 俊夫、外部講師		
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態度	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業機械演習	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	60 時間			
担当者名	松永 雅志、企画戦略部	単位数	3 単位			
科目の概要	(1)農業機械の構造、基本的な操作方法の学修 (2)農業機械の公道走行の学修					
身に付ける力	農業機械に関する基礎的な知識と操作技術					
到達目標	(1)農作業安全に係る知識・技術を習得する。 (2)農業機械の保守管理に関する知識・技術を習得する。 (3)農業機械の基本的な操作方法に関する知識・技術を習得する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	農作業安全について(講義)	2	松永 雅志、片山 正之		
	2	燃料の取扱い(講義)	2	松永 雅志、片山 正之		
	3	エンジンの構造と分解・組立	4	松永 雅志、片山 正之		
	4	刈払機の安全使用と保守管理(講義・演習)	2	松永 雅志、片山 正之		
	5	動力運搬車の安全使用と保守管理(講義・演習)	2	松永 雅志、片山 正之		
	6	工具の取扱い(講義)	2	松永 雅志、片山 正之		
	7	農業機械の公道走行(講義・演習)	40	松永 雅志、片山 正之		
	8	作業機械操作の基本(講義・演習)	5	松永 雅志、片山 正之		
	9	定期考查	1	松永 雅志、片山 正之		
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材	農業機械士技能検定試験テキスト (社)日本農業機械化協会					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜産物物流通概論	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	山下 貴史、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	農畜産物の流通・市場を取り巻く環境や実態、県施策等に関する基礎的な学修					
身に付ける力	農業経営に必要なマーケティングに関する基礎的な知識					
到達目標	(1)流通の機能と役割、県内の主要作物の流通体系を理解する。 (2)流通に関連する諸制度、法令等を理解する。 (3)流通の今日的課題及び対処方法を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数			
	1	流通の機能と役割(用語の理解)	2			
	2	青果物の流通	1			
	3	米の流通	2			
	4	畜産物流通	1			
	5	流通事例調査(青果物)	2			
	6	流通事例調査(畜産)	2			
	7	マーケティング論	2			
	8	食品表示の概要と関連法令	2			
	9	定期考查	1			
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	60	実技テスト		
	レポート	思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜産物利用演習	開講時期	1年生通年
		授業の形態	演習
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間
担当者名	田中加奈子、落合 芳子、経営高度化研究室	単位数	1 単位
科目の概要	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な学修 (2)代表的な農産物加工、畜産物加工の実習		
身に付ける力	農畜産物の基本的な特性を理解し、その加工技術を習得する。		
到達目標	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な内容を理解する。 (2)代表的な農畜産物加工の方法を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農畜産加工の目的と加工販売に必要な条件	2
	2	加工の実際	
	3	(1)牛乳・肉製品の加工	8
	4	(2)果実・野菜・大豆・小麦の加工	8
	5	定期考查	2
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	60
	レポート	思・判・表	20
	授業・実習態度	態	20

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業基礎	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	45 時間			
担当者名	森岡 徹文、太田 壮洋、企画戦略部、吾郷 智之、外部講師	単位数	3 単位			
科目の概要	(1)作物栽培に関する基礎的な知識・技術の学修 (2)畜産に関する基礎的な知識・技術の学修 (3)土壤肥料、気象等に関する基礎的な知識・技術の学修					
身に付ける力	農業全般に関する基礎的な知識・技術					
到達目標	(1)作物栽培に関する基礎的な知識・技術を理解する (2)畜産に関する基礎的な知識・技術を理解する (3)土壤肥料、気象等に関する基礎的な知識・技術を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	作物の区分、分類、県オリジナル品種	2	森岡 徹文		
	2	環境、作型、管理、施肥、病害虫防除等	5	森岡 徹文		
	3	作物栽培に必要な専門用語等	2	森岡 徹文		
	4	作物の繁殖技術の概要、各種資材の特性と利用	2	森岡 徹文		
	5	家畜の定義、分類、品種	2	太田 壮洋		
	6	家畜の一生、日本の畜産と世界の畜産	4	太田 壮洋		
	7	畜産物の利用、糞尿処理と利用	4	太田 壮洋		
	8	中小家畜の飼養管理、養蜂概論	4	太田 壮洋		
	9	土壤肥料の役割、様々な土壤	2	迫村 竜也		
	10	植物に必要な養分、養分欠乏	4	迫村 竜也		
	11	肥料の種類と役割、肥料設計、排水対策	2	迫村 竜也		
	12	簡単な土壤分析	4	迫村 竜也		
	13	農業に役立つ気象情報	4	外部講師、吾郷 智之		
	14	地球温暖化と農業気象災害の実際	2	外部講師、吾郷 智之		
	15	定期考查(前後期)	2	森岡 徹文、太田 壮洋		
テキスト・副教材	図解でよくわかる 土・肥料の基本(一般財団法人 日本土壤協会監修 誠文堂新光社)					
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技・思・判・表	60	実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	作物栽培演習	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術		時間数	20 時間		
担当者名	稻葉 俊二		単位数	1 単位		
科目の概要	土地利用型作物(水稻、麦類)の生産と栽培管理技術の学修					
身に付ける力	土地利用型作物(水稻、麦類)の生産と栽培管理の基礎的な技術					
到達目標	(1)水稻の生産と栽培管理、水田の土づくり等の知識・技術を習得する。 (2)麦類の生産と栽培管理の知識・技術を習得する。 (3)水田農業をめぐる新たな動き、新技術等の知識・技術を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1 土づくり・耕耘	2	稻葉 俊二			
	2 水稻の栽培管理・播種	2	稻葉 俊二			
	3 田植	2	稻葉 俊二			
	4 雜草防除	2	稻葉 俊二			
	5 生育調査・用水形成期調査	2	稻葉 俊二			
	6 出穂期調査	1	稻葉 俊二			
	7 成熟期調査	2	稻葉 俊二			
	8 収穫	2	稻葉 俊二			
	9 麦の栽培管理・排水対策	2	稻葉 俊二			
	10 水田農業の組織化、法人化等	2	稻葉 俊二			
	11 定期考查	1	稻葉 俊二			
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	林業基礎	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之、林業技術研究室	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)山口県の森林・林業に関する基礎的な学修 (2)林業の基本的な作業(育林、伐倒)及び特用林産に関する学修					
身に付ける力	森林・林業に関する基礎的な知識・技術					
到達目標	(1)山口県の森林・林業に関する情勢等を理解する。 (2)林業に必要な基礎的な知識・技術を習得する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	山口県の森林・林業の現状	1	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	2	林業概論	1	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	3	特用林産(1)	2	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	4	特用林産(2)	2	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	5	最新の林業試験研究	2	田戸 裕之、川元 裕		
	6	育林	1	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	7	伐採方法	1	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	8	伐倒作業(1)	2	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	9	伐倒作業(2)	2	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	10	発表会	1	金子 健二、山中 俊也、深川 浩之		
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技、思・判・表		実技テスト	知・技	
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	60
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	GAP概論	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子	単位数	1 単位			
科目的概要	GAPの基本的な考え方、安心・安全な生産物管理に関する学修					
身に付ける力	GAP実践者として必要な知識・技術					
到達目標	(1)食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善内容について理解する。 (2)農大のルールとGAP管理点の関連について理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	GAPの概要について	2	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子		
	2	トヨタ式カイゼンについて	2	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子		
	3	食品安全のリスク	2	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子		
	4	労働災害の実際	2	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子		
	5	自己点検による農畜産物取扱施設等に潜むリスクと農大でのルールの実際(各課)	7	藤山 昌三、森岡 徹文、關谷 敦子		
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材	農業高校等生徒向けGAPテキスト (有)山口ティワー・エル・オー					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	販売実践演習	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間			
担当者名	藤山 昌三、森岡 徹文、太田 壮洋、外部講師	単位数	1 単位			
科目的概要	販売実習をとおして多様な販売方法を学修する。					
身に付ける力	農業経営に必要な販売に関する知識・技術					
到達目標	(1)販売実習で、適切な接客方法を理解する。 (2)PR方法等、効果的な販売手法を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	販売実習の基本的な心構え・ルール、販売方針検討	1	藤山 昌三、森岡 徹文、太田 壮洋		
	2	対面販売実施に向けて企画・運営・販売	15	藤山 昌三、森岡 徹文、太田 壮洋		
	3	(周南市道の駅、うめてらす他)				
	4	農産物のPR等、販売手法の検討	4	外部講師、藤山 昌三		
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查			実技テスト		
	レポート	思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	知・技・態	80	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	会社経営論	開講時期	1年生通年
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間
担当者名	吾郷 智之、外部講師	単位数	1 単位
科目の概要	「農大生の会社」の設立や経営管理、販売方法及びマーケティングに関する学修		
身に付ける力	会社設立に関する知識、マーケティングの基礎知識		
到達目標	(1)会社設立の手続きを理解する。 (2)マーケティングの理論を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農業経営の法人化	2
	2	会社設立の手続き	4
	3	マーケティングの基礎概念	1
	4	マーケティングの基本的な用語	2
	5	マーケティングの事例(1)	2
	6	マーケティングの事例(2)	2
	7	マーケティングのまとめ	1
	8	定期考查	1
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	60
	レポート	思・判・表	20
	授業・実習態度	態	20

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度